

BUSINESS REPORT

へんしも

第42期 第2四半期 [平成24年4月1日～平成24年9月30日]



スーパーモビル
SME-13CVP(S)



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役社長
山口 隆士



代表取締役専務
佃 維男

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2 財務ハイライト
- 3～4 財務諸表
- 5～6 事業概要
- 7～8 製品トピックス
- 9 トピックス
- 10 会社情報

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第42期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORTへんしも」
をお届けいたします。

【中期経営計画・第42期全社活動方針】

当期は、中期経営計画（3ヶ年）「未来への創造」の最終年度であり、重点実施事項としまして

1.顧客満足のレベルアップ

2.新製品・新技術・新市場

3.活力あふれる組織の創造

に取り組んでおります。

今一度原点に戻り「技術の兼松」を再構築し、「顧客信頼度“ナンバー1”企業」となるべく取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月

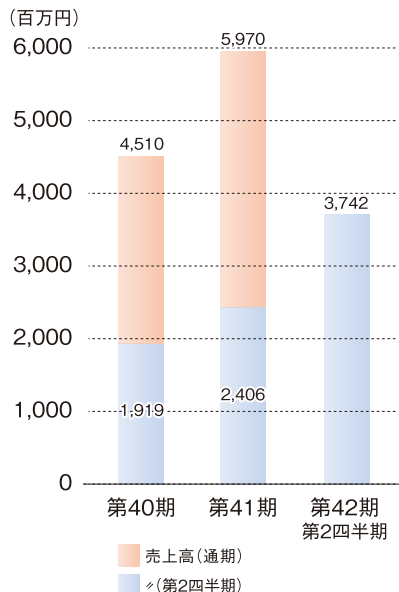
[営業の概況等]

当第2四半期における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要はあったものの、海外要因による需要減少、景況の停滞が懸念されております。

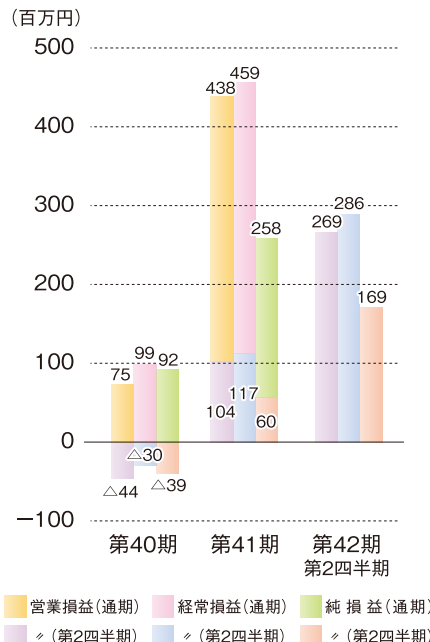
当第2四半期は、多くの期初受注残や、工場関係向け強力吸引作業車、レンタル向け強力吸引作業車等、引き続き好調な受注を背景に、期初から高水準の生産活動を維持いたしました。この結果、東日本大震災の影響で期初生産活動が停滞した前第2四半期に比べ、大幅な業績向上となりました。

業績(数値)につきましては、前第2四半期に比べ受注高は361百万円増の3,781百万円(前年同四半期比10.6%増)、売上高は1,335百万円増の3,742百万円(前年同四半期比55.5%増)となりました。損益につきましては、営業利益は164百万円増の269百万円(前年同四半期比156.8%増)、経常利益は168百万円増の286百万円(前年同四半期比143.5%増)、四半期純利益は109百万円増の169百万円(前年同四半期比181.1%増)を計上することとなりました。

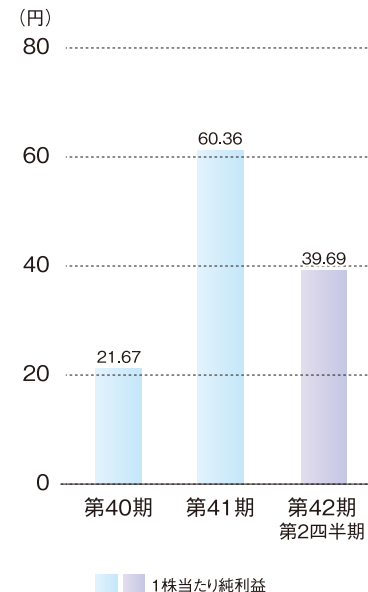
●売上高



●営業損益・経常損益・純損益



●1株当たり純利益



●貸借対照表

(単位:千円)

資産の部

総資産は、前期末残高に比べ368百万円減少し、5,731百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少136百万円、売上債権の減少117百万円及びたな卸資産の減少84百万円等によるものがあります。

負債の部

負債は、前期末残高に比べ436百万円減少し、2,833百万円となりました。これは主に、引当金の増加119百万円はありましたが、仕入債務の減少164百万円、長期未払金の減少138百万円及び前受金の減少129百万円等によるものであります。

純資産の部

純資産は、前期末残高に比べ68百万円増加し、2,897百万円となりました。これは主に、剰余金の配当94百万円はありましたが、四半期純利益の計上169百万円等によるものであります。

科 目	当第2四半期末 (平成24年9月30日)	前 期 末 (平成24年3月31日)	増 減 (△印減)
(資産の部)			
流動資産	3,771,853	4,049,549	△277,695
固定資産	1,959,332	2,049,714	△90,381
有形固定資産	1,745,234	1,758,059	△12,824
無形固定資産	20,810	21,928	△1,118
投資その他の資産	193,287	269,725	△76,438
資産合計	5,731,186	6,099,263	△368,077
(負債の部)			
流動負債	2,597,533	2,897,896	△300,363
固定負債	236,341	372,788	△136,446
負債合計	2,833,874	3,270,684	△436,809
(純資産の部)			
株主資本	2,898,424	2,822,785	75,638
資本金	313,700	313,700	—
資本剰余金	356,021	356,021	—
利益剰余金	2,230,476	2,154,838	75,638
自己株式	△1,773	△1,773	—
評価・換算差額等	△1,112	5,793	△6,906
純資産合計	2,897,311	2,828,579	68,732
負債純資産合計	5,731,186	6,099,263	△368,077

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

●損益計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自 平成24年4月 1 日 至 平成24年9月30日)	前第2四半期 (自 平成23年4月 1 日 至 平成23年9月30日)	増 減 (△印減)
売上高	3,742,218	2,406,289	1,335,928
売上原価	2,877,242	1,790,177	1,087,064
売上総利益	864,975	616,112	248,863
販売費及び一般管理費	595,692	511,265	84,427
営業利益	269,282	104,846	164,435
営業外収益	17,664	13,089	4,575
営業外費用	817	425	391
経常利益	286,129	117,510	168,619
特別損失	77	6,563	△6,485
税引前四半期純利益	286,051	110,947	175,104
法人税等	116,340	50,581	65,759
四半期純利益	169,711	60,365	109,345

売上高

当社主力製品の強力吸引作業車が前年同四半期比79.4%増の2,543百万円、汚泥吸引作業車が71.0%増の106百万円、高圧洗浄車が8.3%増の408百万円等となり当第2四半期売上高は、3,742百万円となりました。

四半期純利益

多くの期初受注残や、工場関係向け強力吸引作業車、レンタル向け強力吸引作業車等、引き続き好調な受注もあり、四半期純利益169百万円を計上することができました。

●キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当第2四半期 (自 平成24年4月 1 日 至 平成24年9月30日)	前第2四半期 (自 平成23年4月 1 日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,717	△154,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,717	△55,339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,146	△58,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△807	△1,131
現金及び現金同等物の減少額	△152,954	△269,443
現金及び現金同等物の期首残高	769,516	474,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	616,562	204,909

●平成25年3月の業績予想

最近の業績動向を踏まえ、平成24年8月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしました。

(平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位:百万円)

科 目	修正予想	当初予想 (8/6発表)	増減額	増減率 (%)
売上高	7,044	6,601	443	6.7
営業利益	374	309	65	21.0
経常利益	399	330	69	20.9
当期純利益	233	190	43	22.6

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 2,649百万円

国内では大きなシェアを占め、
 産業廃棄物の収集運搬に用い
 られるとともに、様々な付加機
 能により用途を広げています。

〈用途〉

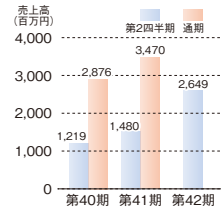
- 廃棄物の収集運搬
- 高深度地下の汚泥回収
- 粉粒体の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SS-13BWP)



強力吸引作業車 (SM-05BVP)



新製品／部品販売・修理等

売上高 460百万円

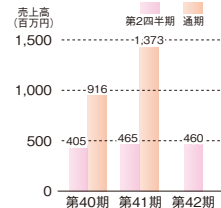
新製品やその他の区分に属さない
 製品及び部品販売・修理などが含
 まれています。



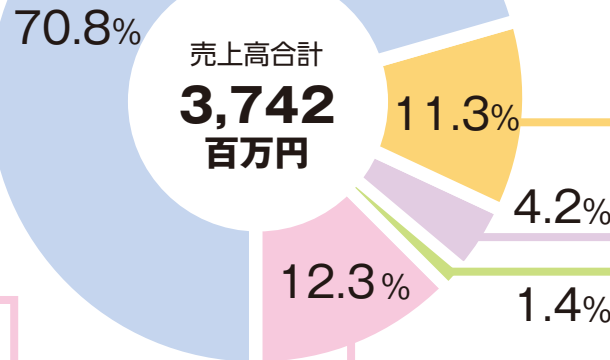
小規模有機性排水処理システム (SWAT)



部品: ルーツブロワ



製品別売上高構成比



高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車・定置型高圧洗浄機

売上高 423百万円

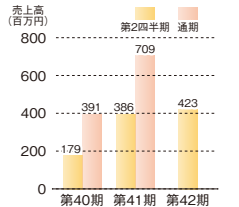
高性能の実現と誰にでも使用で
 ける使い易さで市場に浸透してい
 ます。強力吸引作業車につぐ当社第2
 の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-03W1518AD)



粉粒体吸引・圧送車

売上高 158百万円

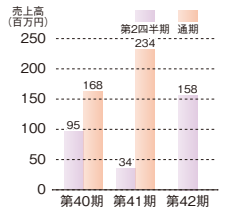
吸引機能と加圧圧送機能を組み合
 わせ、粉粒体の長距離・高揚程輸送
 を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント等粉体原料の回収・リサイクル
- 焼却灰の回収運搬



粉粒体吸引・圧送車 (SQ-16BVT)



定置型吸引機

売上高 50百万円

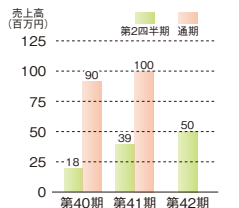
当社技術の原点となる製品です。
 工場の環境改善や省力化などに活
 用されています。

〈用途〉

- 塗装プラストの回収
- 工場内清掃
- フライアッシュの回収



空冷式定置型吸引機 (NEL-75SV)



汚泥脱水機(車)

(当第2四半期に売上はありませんでした)

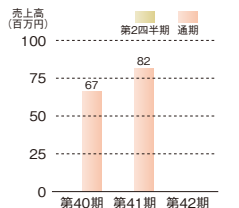
多様な汚泥の脱水が可能な遠心脱
 水方式やベルトプレス他、ニーズに
 合った脱水システムが可能です。

〈用途〉

- 建設汚泥の脱水・リサイクル
- 中間処理施設での脱水
- 生コン汚泥の脱水・リサイクル



トンネル洗浄水処理車 (SP-04DB)



従来の高圧洗浄車のイメージを一変させるデザイン性を重視した

2段切換型3トン高圧洗浄車 (JS-03SS1850AD(S))



3tシャーシに架装することで都心部の狭い現場でも作業しやすいコンパクトさです。

2段切換式ポンプ搭載により、高圧・超高圧の切換がスイッチ一つで可能。ビルやマンションの給水管の更正工事前処理、下水清掃と1台2役に使用できます。



狭い敷地に設置可能な

小規模有機性排水処理 (SWAT) システム

飲食店等に設置してあるグリストラップ (油脂分や野菜くずなどが含まれる厨房排水を下水道へ直接流さないようにする装置) に溜まったグリストラップ汚泥を嫌気性菌と好気性菌を使用した2種類の生物反応器に通して、下水道に放流できる水準にまで浄化する中間処理施設。

特徴

- 浄化した処理水は下水道放流するだけでなく、再利用可能
- 嫌気性菌反応により発生したメタンガス (バイオガス) は再利用可能



嫌気性菌反応器 好気性菌反応器

多機能型吸引・圧送車 (SQ-16BVYT)



特徴

- 乾湿問わず吸引・圧送が可能
- メインタンクのハッチロック機構を強化し、簡単操作で安全性も向上
- 吸引ラインを切り換えて使用するフレコン取り専用タンクは2層式構造で、連続吸引が可能

超強力吸引作業車「パワープロベスター」が テレビ番組で4度目の対決!

番組名 フジテレビ『プライドを懸けた真剣対決SHOW ほこ×たて』

番組内容

「矛盾」をテーマに相反する能力を持つ「最強の吸引作業車」と「最強の放水ポンプ車」がニュートン算の問題をもとに対決をしたら、どちらが勝つのか!?という対戦型バラエティ番組



9月2日放送 **撮影製品** エレファントジャパン株式会社様所有SU-16BWP(風量140m³/min)
VS 長野ポンプ株式会社様 ポンプ車

結果 勝利 **対決場所** 石川県和倉温泉

撮影風景・放映の一コマ



兼松エンジニアリング(株)



長野ポンプ(株)





●会社の概要

設立年月日 昭和46年9月1日
資本金 313,700,000円
従業員数 158名
事業内容 強力吸引作業車、高圧洗浄車等
環境整備機器の製造販売

●役員

代表取締役社長 山口 隆士
代表取締役専務 佃 維男
取締役 山本 琴一
取締役 柳井 仁司
常勤監査役 中村 修身
社外監査役 西岡啓二郎
社外監査役 平井 雄一

●事業所

本社 〒781-5101 高知市布師田3981-7
TEL(088)845-5511 FAX(088)845-5211
明見工場 〒783-0007 高知県南国市明見913-11
TEL(088)864-1506 FAX(088)864-1167
技術センター 〒783-0007 高知県南国市明見898-20
TEL(088)864-1771 FAX(088)864-2032
東日本支社
東京支店 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1
アンソレイエ・オオタ601号
TEL(03)3667-7330 FAX(03)3667-7333
東北・北海道支店 〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F
TEL(022)248-2991 FAX(022)248-2995
札幌営業所 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル2F
TEL(011)893-0861 FAX(011)893-0860
名古屋支店 〒452-0809 名古屋市西区花原町40
TEL(052)501-3171 FAX(052)501-3095
西日本支社
大阪支店 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43
TEL(072)653-1136 FAX(072)653-1350
中四国支店 〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F
TEL(082)426-2131 FAX(082)426-2133
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F
TEL(092)761-7761 FAX(092)761-7760

●株式の状況

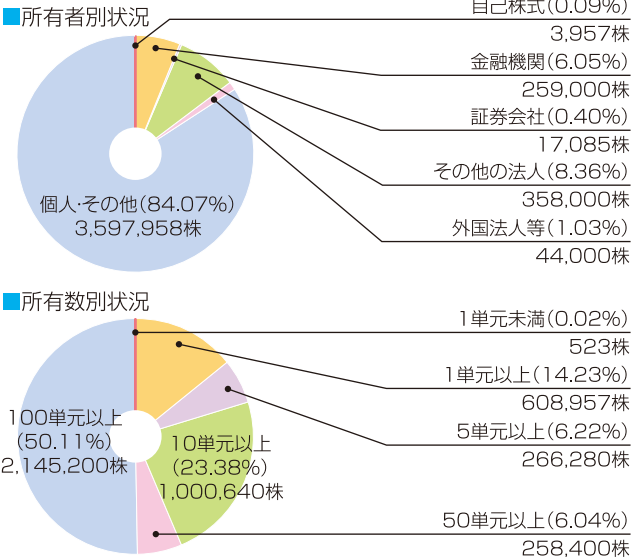
会社が発行する株式の総数 13,520,000株
発行済株式の総数 4,276,043株
(自己株式3,957株を除く)
株主数 560名

大株主

株主名	持株数	持株比率
兼松エンジニアリング従業員持株会	436,000株	10.20%
三谷浩湊	327,200株	7.65%
山本琴一	324,000株	7.58%
株式会社扇港鋼業所	251,000株	5.87%
山口隆士	236,640株	5.53%
山本吾一	202,200株	4.73%
柳川裕司	148,200株	3.47%
株式会社四国銀行	117,000株	2.74%
坂本洋介	102,960株	2.41%
板垣周一	83,000株	1.94%

(注)持株比率は、自己株式(3,957株)を控除して計算しております。

●株式分布状況



●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日(なお、中間配当を行う場合は毎年9月30日)
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

〈※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。〉

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場証券取引所 大阪証券取引所市場第2部

K&E 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 高知市布師田3981番地7 TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>

R100
古紙配合率100%再生紙



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。